

春らんまん・岡山の出雲街道をゆく

さくらのわしの



1月2月。寒い寒いと言ううちに、
北から吹く風が南からに変わり、
やがて日本列島は「桜」の季節の始まりです。
さかのぼること千年。
平安時代から、桜は日本の花の代表。
今年もやっばり、お花見はやめられませんが、
というわけで、お待ちかね、
アーバンホールがお届けする「花図鑑・おかやま」。
今月は、岡山下、
中でも、逸話の多い出雲街道をテーマに、
桜の名所を、ご紹介します。



推定樹齢千年。県下でいちばんの巨木は、今も健在。

真庭市落合 醍醐の桜

その昔、鎌倉の北条方に敗れた後醍醐天皇が、隠岐の島へ流され、出雲街道に行く旅の途中、この桜の美しさになぐさめられ、再起を図ったといわれることからこの名が付いた「醍醐の桜」。後醍醐天皇が見た一本の桜を、およそ七百年後の私たちも、見られるなんて素敵ですね。



●開花情報
岡山県真庭市ホームページより

- ✳ 樹齢千年の醍醐の桜、品種は、しっとり美しいアズマヒガン。年によって咲き方が変わるので、開花期にはぜひ、役場へ問い合わせを。
- ✳ 泊りがけなら「まにわ温泉・真庭リバーサイドホテル」が近い。
- ✳ おみやげは道の駅「醍醐の里」へ。



今春で、樹齢百十二歳。花咲く長寿にあやかりう！
最北端。おかやま桜前線はここがゴール。

新庄村のがいせん桜



- ✳ ゆっくり楽しみたい人は、村営の素泊まり宿泊施設「やまなみ」もある。
- ✳ おみやげは、江戸時代からある新庄村の名物「ひめもち」。手こね無しの四本杵でつき、しっかりと餅本来の美味しさが自慢だ。



●開花情報 岡山県新庄村ホームページより

人が歩いて旅をした時代、出雲街道の宿場町として栄えた新庄。新庄村は、日本の町制が誕生して村になって以来、一度も合併せず、ひたすら村であり続ける豊かな山と川に恵まれた、美しい村です。その宿場の中心地に、日露戦争の勝利を祝って明治39年に、百数十本の苗木を植え、桜並木にしたのが、通称・がいせん桜の始まりです。

岡山県随一・お城を望む千本の景観。 津山城・鶴山公園の桜

本能寺で信長公と運命をともにした小姓・森蘭丸の弟、森忠政が開いた津山藩十八万六千石の壮大なお城とその庭園。ここは出雲街道の要衝の地でもあった。



- ✳ 桜だけでなく、街並み散策、商店街散策も津山の楽しみ。
- ✳ 研究会まである地元のB級グルメ「ホルモンうどん」は食べる価値あり。

古い地名の「つるやま」を「つやま」に改めたのも森忠政です。園内千本の桜が見頃になると、県下はもちろん、遠くからも花見客が押し寄せる岡山県の桜名所です。今年は、武家屋敷散策も楽しい津山散歩を、ぜひ、お花見シーズンにいかがですか？



●開花情報 岡山県津山市ホームページより

アーバンホール 葬儀・法要・ギフト

倉敷、岡山に11ホール、裏面もご覧ください。